

## (タタキ台)

大阪府次世代育成支援行動計画

# こども・未来プラン後期計画骨子(案)

～おおさかが支える 子どものキラリ～

平成21(2009)年8月  
大阪府



- 1 計画の目的・性格・期間
- 2 こども・未来プラン策定(平成17(2005)年)以降の状況の変化
- 3 基本理念・基本方向・基本的視点
- 4 子どもの将来像・子育て目標
- 5 施策の推進方向
- 6 計画を推進するために(目標数値の設定と進行管理)

# 1 計画の目的・性格・期間

## (1) 計画の目的

社会全体で子どもを生子・育てやすい、そして子ども・青少年が創造性に富み、豊かに成長することができる環境をつくる

## (2) 計画の性格

- ・ 次世代育成支援対策推進法第9条第1項に基づく次世代育成のための総合的な計画
- ・ 大阪府子ども条例第10条第1項に基づく子ども施策の総合的な計画
- ・ 大阪府青少年健全育成条例第8条第2項に基づく青少年施策の総合的な計画
- ・ 児童福祉法第56条の9第1項に基づく保育計画

## (3) 計画の期間

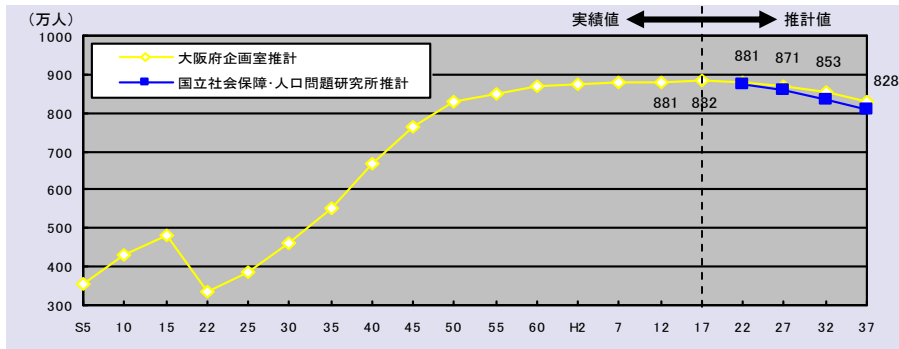
平成22(2010)年4月から平成27(2015)年3月まで 【5ヶ年計画】

## 2 こども・未来プラン策定(平成17年)以降の状況の変化

### (1) 少子化の現状

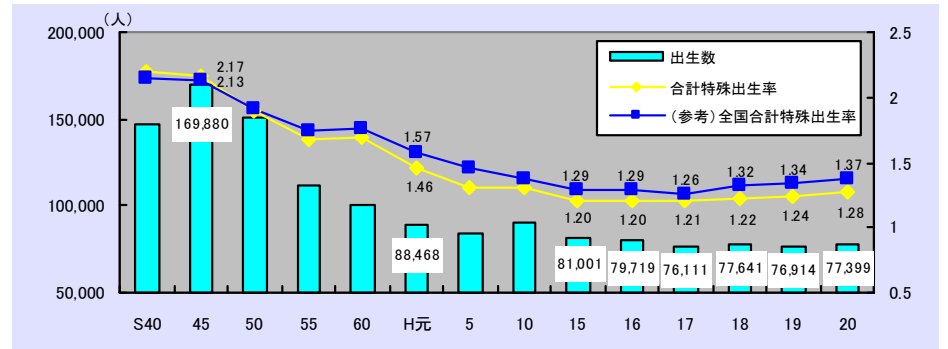
- 大阪府の人口は、約882万人前後で平成22(2010)年頃までほぼ横ばいで推移しながらピークを迎え、以降減少すると推計。  
平成17(2005)年と平成37(2025)年と比較すると、人口は約828万人に減少し、年齢構成別人口構成比は0～14歳が13.8%から9.8%に減少する一方で、65歳以上は18.7%から30.9%に増加すると推計。
- また、合計特殊出生率は、直近の平成20(2008)年まで4年連続で上昇しているものの、全国平均を下回っている状況にあり、出生数は、概ね横ばいで推移。

#### 【人口動向の推移】



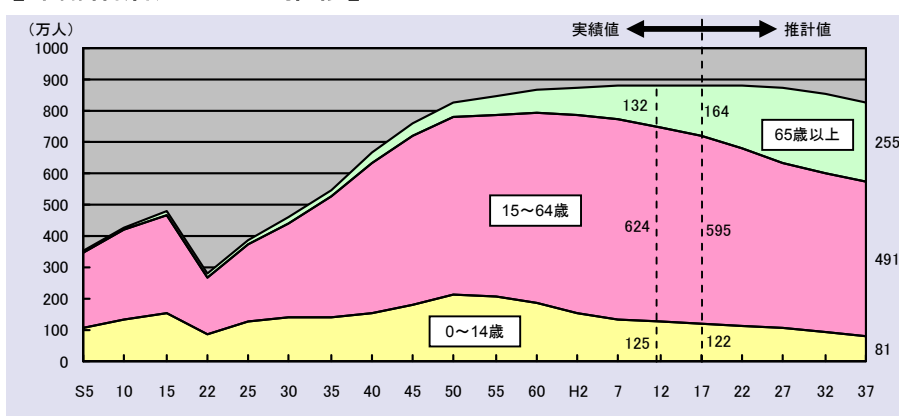
資料:総務省「国勢調査」、大阪府企画室「大阪府の将来推計人口の点検について(ケース2)」(平成21年3月)  
国立社会保障・人口問題研究所「都道府県別将来推計人口」(平成14年)

#### 【合計特殊出生率・出生数の推移】



資料:厚生労働省「人口動態統計」

#### 【年齢階層別人口の推移】



資料:総務省「国勢調査」、大阪府企画室「大阪府の将来推計人口の点検について(ケース2)」(平成21年3月)

#### 【都道府県別にみた合計特殊出生率(下位順)】

順位	都道府県	H20	H19
1位	東京	1.09	1.05
2位	北海道	1.20	1.19
3位	京都	1.22	1.18
3位	奈良	1.22	1.22
5位	神奈川	1.27	1.25
6位	大阪	1.28	1.24
6位	埼玉	1.28	1.26
	全国	1.37	1.34

資料:厚生労働省「人口動態統計」

## (2) こども・未来プランの取組み状況

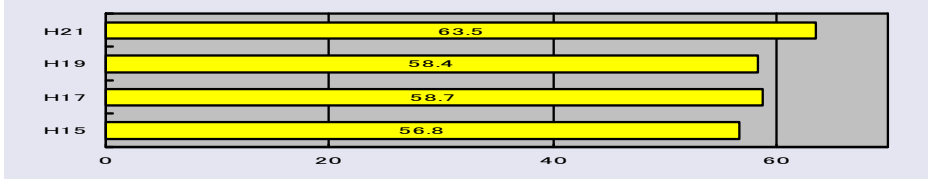
### ア 目標数値の進捗状況

- 「子どもを大阪で育ててよかったと思っている府民の割合」は増加しているが、「夢を持っている子どもの割合」は概ね横ばいで推移し、「理想の子ども数と出生児数の差」は目標値との間に開きがある。
- 個別指標43項目のうち、目標を達成したものの14項目、9割以上達成しているものは10項目、これらを含め、8割以上達成しているものは、全項目の約6割。

### イ 主要プロジェクトの取組み状況

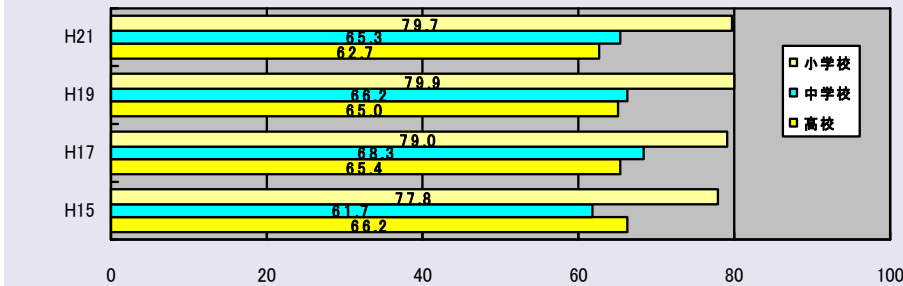
- 主要プロジェクトの取組みにより、保育所待機児童の減少や小学生以下が被害となる主な犯罪の認知件数が減少傾向にあるなど、これまで一定の施策効果が上がっているものの、保育需要と供給の不一致が生じている状況や、犯罪の前兆となる不審な声かけ等の事案が増加傾向にあるなど、依然として子ども・青少年を巡る課題は山積しており、引き続き施策を推進していくことが必要。

#### 【子どもを大阪で育ててよかったと思っている府民の割合】



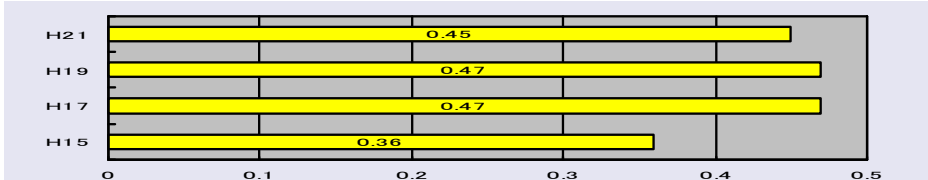
資料：大阪府「府民の意識と行動に関する世論調査」

#### 【夢を持っている子どもの割合】



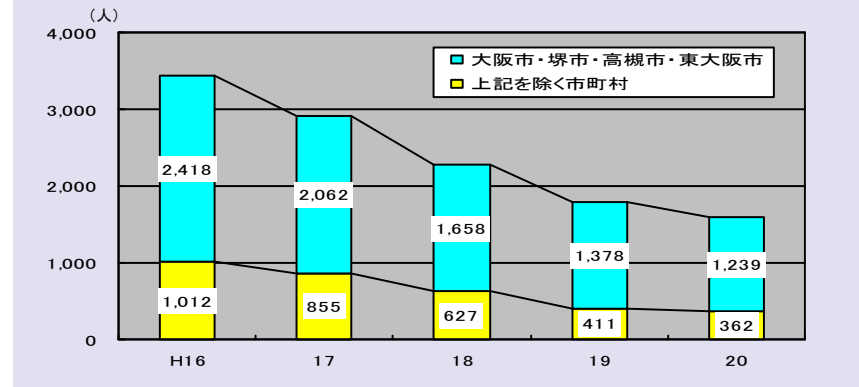
資料：大阪府「小学生・中学生・高校生の意識と行動アンケート調査」

#### 【理想の子ども数と出生児数の差】



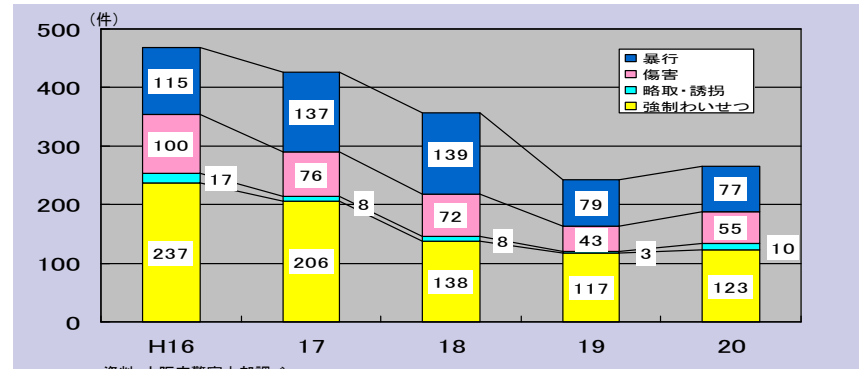
資料：大阪府「府民の意識と行動に関する世論調査」

#### 【保育所待機児童の推移】



資料：大阪府福祉部子ども室調べ

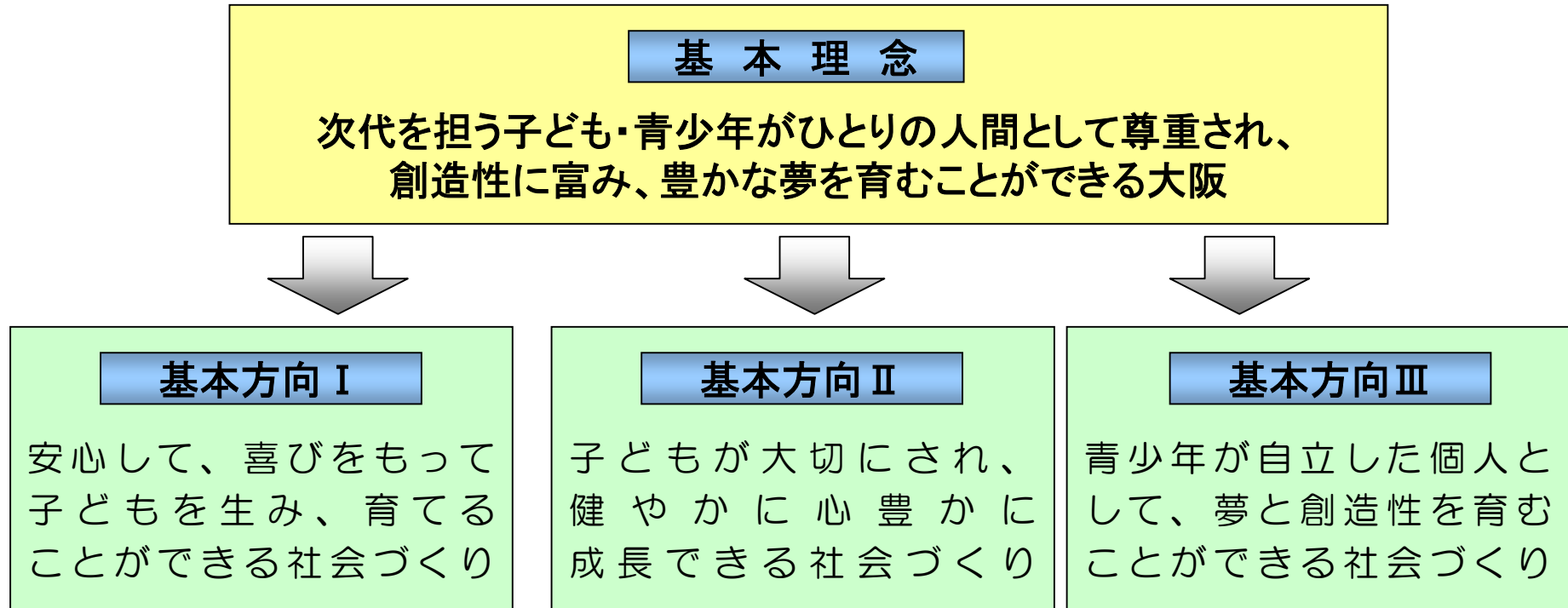
#### 【小学生以下が被害となる主な犯罪の認知推移】



資料：大阪府警察本部調べ

### 3 基本理念・基本方向・基本的視点

現行計画の基本理念・基本方向・基本的視点は、子どもの最善の利益を追求していくための重要な視点であり、後期計画においても踏襲します。

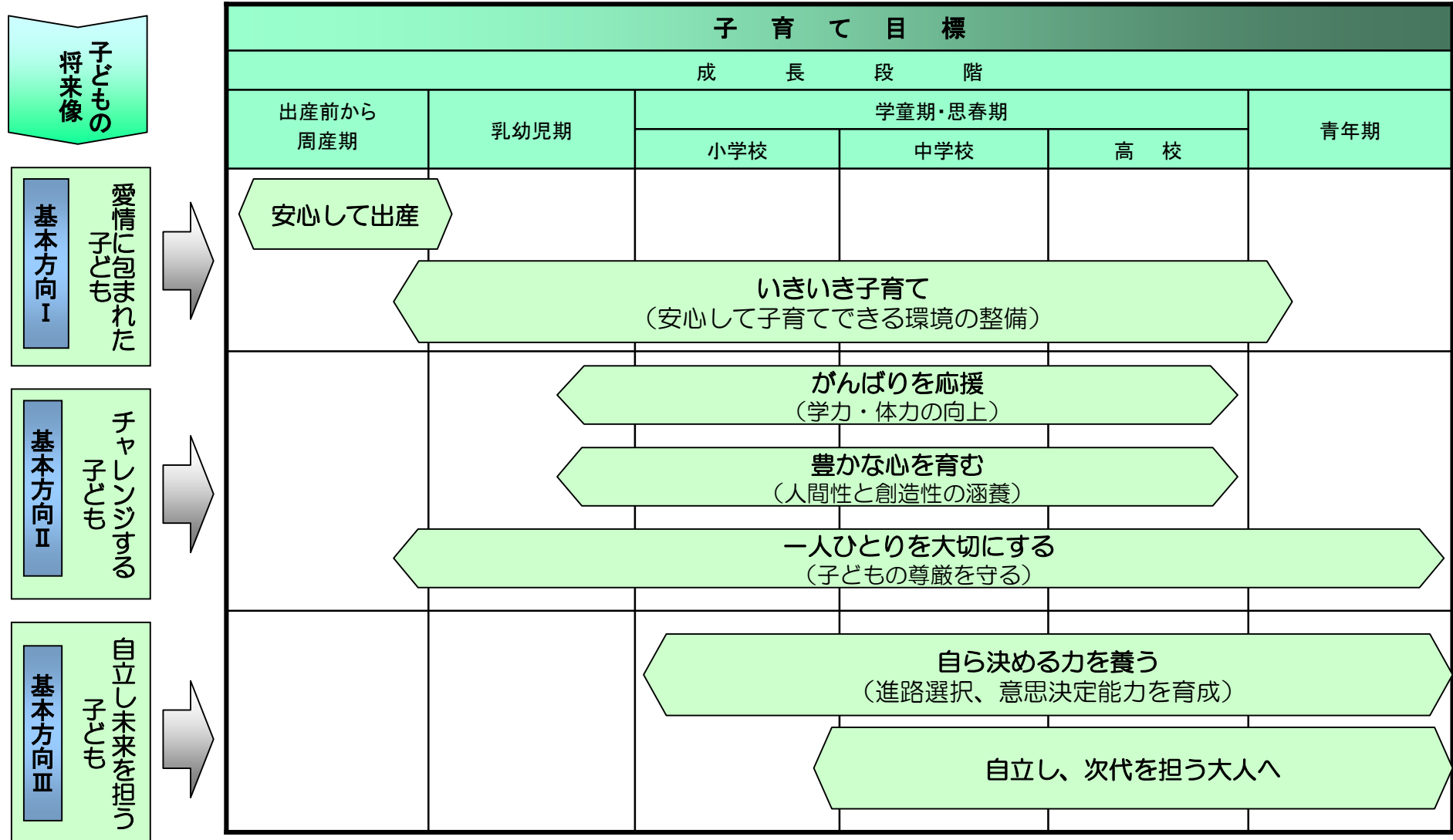


#### (基本的視点)

- 出産前から、乳幼児、学童期、青年期の各成長段階に焦点をあてた取組み
- 子どもや大人、地域、企業の主体的な力を引き出す環境をつくる
- 子どもの利益・権利擁護を最優先にする
- 地域の幅広い協働により問題を早期に発見し「支えあう社会」をつくる
- 在宅子育て家庭を含めたすべての家庭への支援
- 府と市町村との連携
- 次代の親をつくる

# 4 子どもの将来像・子育て目標

「子育て支援日本一」を目指す府の姿勢を分かりやすく府民に発信するため、3つの基本方向ごとに「子どもの将来像」を設定するとともに、この将来像を実現するために、7つの「子育て目標」を掲げます。



## 5 施策の推進方向

「子育て目標」の実現に向け、出産前から周産期、乳幼児期、学童期・思春期、青年期に至る各成長段階に応じた取組み(施策区分・事業区分)を府民に分かりやすくお示します。なお、具体的な取組み内容については、将来ビジョンなどを踏まえながら、「子育て目標」の実現に寄与する重点的な取組みを設定するなど、今後、お示します。

### 【基本方向Ⅰ】子どもの将来像：愛情に包まれた子ども

子 育 て 目 標 : 安 心 し て 出 産							
施策区分	主な現状と課題	出産前から 周産期	乳幼児期	学童期・思春期			青年期
				小学校	中学校	高 校	
母子の健康増進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○出産年齢の上昇等による健康管理に配慮を要する妊婦が増加</li> <li>○救急医療体制の充実の要請(未受診妊婦の救急搬送など搬送受入体制の構築など)</li> <li>○ハイリスク分娩の割合の増加(低出生体重児や多胎児の増加など)</li> <li>○産科医師の不足</li> <li>○妊娠・出産にかかる不安や負担感の増大(経済的負担感など)</li> </ul>	<p>【事業区分】</p> <p>母子保健・医療体制の整備</p> <p>(周産期医療体制等の充実、産科医師の確保)</p> <p>【具体的な取組み内容(例示)】</p> <p>医療費負担の軽減 (妊婦検診、不妊治療費の助成)</p>					
生活環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○妊婦・親子連れ等が移動しやすい環境整備が必要(段差解消など)</li> </ul>	<p>妊婦・親子連れ等に配慮したまちづくりの推進 (公共施設等のバリアフリー化)</p>					
職業生活と家庭生活の調和	<ul style="list-style-type: none"> <li>○仕事と子育てを両立するための環境整備が必要(長時間労働、出産・育児を機に離職する女性が多いなど)</li> </ul>	<p>働き方を見直す意識啓発と労働環境の整備 (労働時間短縮PR等)</p>					



子育て目標：いきいき子育て

施策区分	主な現状と課題	出産前から 周産期	乳幼児期	学童期・思春期			青年期
				小学校	中学校	高校	
地域における子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○仕事と子育てを両立するための保育・子育てサービスの量・質ともに一層の充実が必要（保育所待機児童の存在など）</li> <li>○子育て不安や負担感の増大（子育て家庭の孤立化、経済的負担感など）</li> </ul>	<p>子育てを支える気運醸成の取組促進（広域連携・官民協働による子育て応援）</p> <p>地域子育て支援（地域福祉・子育て支援交付金の活用等による子育て支援）</p> <p>保育施策の推進 （安心こども基金の活用による保育所整備、放課後児童健全育成事業の推進）</p> <p>幼児教育の推進 （就学前教育の充実）</p> <p>児童手当等の支給（児童手当、児童扶養手当等の支給）</p>					
		<p>母子の健康増進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの貧困と貧困の連鎖が指摘</li> <li>○小児科医師の不足</li> </ul> <p>医療費負担の軽減（乳幼児医療費助成、小児慢性特定疾患のり患児童等への助成）</p> <p>母子保健・母子医療の充実 （周産期医療体制等の充実、小児救急医療の集約化の促進、長期入院児に対する在宅支援体制の構築）</p>					
生活環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交通事故死亡者等の歩行者・自転車利用者の割合が全国平均以上</li> <li>○子育て不安や負担感の増大（経済的負担感など）</li> <li>○妊婦・親子連れ等が移動しやすい環境整備が必要（段差解消など）</li> </ul>	<p>安全、安心なまちづくりの推進（犯罪被害防止、交通安全対策）</p> <p>子育てしやすい住宅の提供（子育て世帯等に対する府営住宅の優先募集の実施）</p> <p>妊婦・親子連れ等に配慮したまちづくりの推進（公共施設等のバリアフリー化）</p>					
		<p>職業生活と家庭生活の調和</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○仕事と子育てを両立するための職場環境の整備が必要（長時間労働、出産・子育てを機に離職する女性が多いなど）</li> </ul> <p>働き方を見直す意識啓発と労働環境の整備（労働時間短縮PR等）</p> <p>出産、子育てのための退職後の再就職の促進（職業訓練の充実）</p>					

【基本方向Ⅱ】 子どもの将来像:チャレンジする子ども

子 育 て 目 標 : が ん ば り を 応 援							
施策区分	主な現状と課題	出産前 から 周産期	乳幼児期	学童期・思春期			青年期
				小学校	中学校	高 校	
教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小・中学生とも、学力中低位層の割合が高い</li> <li>○小・中学生とも、家庭で学習習慣や生活習慣が身に付いていない</li> <li>○「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」で、小・中学生とも、全種目全国平均以下</li> <li>○普通科高校における特色づくりの要請</li> <li>○家庭の教育力が低下し、地域のつながりも希薄化</li> <li>○地域で子どもが運動できる場が不十分</li> </ul>		<p>幼児教育の推進 (就学前教育の充実)</p>	<p>学校教育の推進 (小中学校における学力向上方策の推進、府立高校における幅広いニーズに応える教育の充実、学校体育の充実、健康・体力づくり、食育の推進、教員の力の向上、学校や組織の強化)</p> <p>連携</p> <p>家庭や地域の教育力の充実 (教育コミュニティづくり、放課後等の活動の場づくり、地域スポーツの促進、食育の推進)</p> <p>生徒指導上の課題への対応の充実 (生徒の自立・自己実現の支援(支援体制の充実、中退防止の取組み)、生徒指導の充実(いじめ・暴力行為等への対応、不登校への支援、携帯電話等の課題への対策、自主的・主体的活動の充実))</p> <p>教育費負担の軽減 (修学支援の推進)</p>			
			<p>子どもの居場所づくり(活動の場づくり、府営公園整備、企業との連携による活動の場づくり)</p>				
要保護児童等への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○府立知的障がい支援学校における児童生徒数は増加傾向</li> <li>○小・中学校における支援学級の児童生徒数は増加傾向</li> <li>○府立高校における知的障がいのある生徒の学習機会の充実の要請</li> <li>○一人ひとりの状況に応じた社会参加への切実な思いを受け止めた教育が重要</li> <li>○国際化が進展</li> </ul>			<p>障がい児教育の推進 (府立支援学校の教育環境の充実・府立支援学校のセンター的機能の発揮、府立高校における支援教育の推進、自立支援推進校・共生推進モデル校の整備、小・中学校における「ともに学び、ともに育つ教育」の推進、「個別の地域支援計画」の作成、活用の推進)</p> <p>在日外国人と援護を要する帰国者の子ども等への支援 (就学促進、学習支援)</p>			



子育て目標：豊かな心を育む

施策区分	主な現状と課題	出産前から 周産期	乳幼児期	学童期・思春期			青年期
				小学校	中学校	高校	
教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの成長・発達上の課題が顕著 (精神的・社会的自立が遅れる傾向、生産活動や社会性等に未熟さなど)</li> <li>○自尊感情や進取の精神は、全国に比べ低い傾向</li> <li>○家庭の教育力が低下し、地域のつながりも希薄化</li> <li>○人権侵害事象が引き続き生起 (人権に関する知識・理解の不十分さ、知識・理解が実践的態度につながっていない等の課題)</li> </ul>		<p>幼児教育の推進 (就学前教育の充実)</p>	<p>学校教育の推進</p> <p>(ものづくり活動や体験活動等の推進、府立高校における幅広いニーズに応える教育の充実、志や夢を育む教育・道徳教育・キャリア教育・人権教育・福祉教育・国際理解教育・歴史文化教育・環境教育・法教育の推進、トップアスリートとのふれあい促進)</p>			
				<p>連携</p>			
				<p>家庭や地域の教育力の充実 (体験活動の推進、地域スポーツの促進)</p>			
				<p>豊かな人間性を育む仕組みづくり (こころの再生府民運動、環境学習の実施・環境保全活動の充実、文化・芸術に触れる機会の充実、読書活動の推進)</p>			
				<p>子どもの居場所づくり (活動の場づくり、府営公園整備、企業との連携による活動の場づくり)</p>			
				<p>すべての子どもの人権が尊重される社会づくり (人権教育、国際理解教育、福祉教育の推進)</p>			

子育て目標：一人ひとりを大切にする							
施策区分	主な現状と課題	出産前から周産期	乳幼児期	学童期・思春期			青年期
				小学校	中学校	高校	
教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○暴力行為やいじめの発生</li> <li>○府立高校の中退率が全国ワースト1</li> <li>○不登校出現率が高水準</li> <li>○子どもの貧困と貧困の連鎖が指摘</li> <li>○学校の安全確保が重要（耐震化の推進など必要）</li> </ul>		<p>幼児教育の推進 (就学前教育の充実)</p>	<p>すべての子どもの人権が尊重される社会づくり (人権教育・福祉教育・国際理解教育の推進)</p> <p>学校教育の推進 (小中学校における学力向上策の推進、学校や組織の強化、障がい児教育の充実)</p> <p>教育費負担の軽減 (修学支援の推進)</p> <p>生徒指導上の課題への対応の充実 (生徒の自立・自己実現の支援(支援体制の充実、中退防止の取り組み)、生徒指導の充実(いじめ・暴力行為等への対応、不登校への支援、携帯電話等の課題への対策))</p>			
子ども等の安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもが被害者となる事件の多発</li> <li>○交通事故死者等の歩行者・自転車利用者の割合が全国の平均以上</li> <li>○刑法犯少年の検挙・補導人員が全国最多</li> </ul>			<p>安全・安心なまちづくりの推進 (学校の安全対策、犯罪被害防止、地域安全Cの設置、交通安全対策)</p> <p>子どもの居場所づくり(放課後等の活動の場づくり)</p> <p>非行など問題行動を防ぐ施策の推進 (非行防止・立ち直り支援、少年補導Cの設置、修徳学院の機能強化)</p>			
要保護児童等への取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○複雑困難化している虐待相談に対し、個別・専門的な対応が必要</li> <li>○社会的養護を要する子どもに対し、個別・専門的な対応が重要</li> <li>○里親家庭が不足</li> <li>○障がいの早期発見・早期対応と成長段階に応じた一貫した支援が必要</li> <li>○母子家庭は、母親が正規雇用に至らず、貧困な世帯が少なくない</li> <li>○子どもの貧困と貧困の連鎖が指摘</li> <li>○同和問題、障がい児、外国人などにかかる様々な人権問題が存在</li> </ul>	<p>母子医療体制の整備 (周産期医療体制等の充実(障がい児と家族への療育指導))</p>	<p>児童虐待問題への対応(子ども家庭Cの運営、児童虐待対策プロジェクト)</p> <p>社会的養護の拡充(里親制度の活用、児童福祉施設の見直し・強化)</p> <p>障がい児施策の推進 (地域療育システム整備促進、障がい児・家族への支援、障がい児教育の推進、障がい児の就労支援)</p> <p>母子家庭等自立支援(自立支援・日常生活支援)</p> <p>DV対策の推進(相談支援事業、啓発事業)</p> <p>在日外国人と援護を要する帰国者の子ども等への支援(就学促進、学習支援、居場所づくり)</p> <p>すべての子どもの人権が尊重される社会づくり(総合相談実施市町村への支援)</p>				

【基本方向Ⅲ】 子どもの将来像：自立し、未来を担う子ども

子 育 て 目 標 : 自 ら 決 め る 力 を 養 う							
施策区分	主な現状と課題	出産前 から 周産期	乳幼児期	学童期・思春期			青年期
				小学校	中学校	高 校	
若者の自立支援・就労支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの成長・発達上の課題が顕著 (精神的・社会的自立が遅れる傾向、生産活動や社会性等に未熟さなど)</li> <li>○子どもの自尊感情や進取の精神は、全国に比べ低い傾向</li> <li>○将来の仕事や夢への目的意識を持ってない子どもが多い (高校卒業時に将来の職業を意識している割合が低い など)</li> <li>○学校卒業後3年以内の離職率が高い</li> <li>○支援学校高等部を卒業した知的障がいのある生徒の就職率が低い</li> </ul>			<p>学校教育の推進 (志や夢をはぐむ取組み・道徳教育・キャリア教育の推進、幅広いニーズに応える教育内容の充実、家庭、地域と連携した学習機会、教育内容の充実、専修学校と連携した教育の推進)</p> <p>職業教育の推進 (産業教育の活性化、専修学校における産学接続コースの創設・普及、16歳のハローワーク(職業アセスメント・プログラム)事業)</p> <p>障がい児の就労支援 (職業コースの計画的な配置など就労支援の充実、就労先等の開拓、障がい者雇用を進める企業への支援体制の整備、たまがわタイプ支援学校の整備)</p>			
若者を取り巻く環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○インターネット等による子どもが被害者となる事案の顕在化</li> <li>○府立高校の中退率が全国ワースト1</li> <li>○中学校における暴力行為の増加、いじめの深刻化、不登校出現率が高水準で推移 (小学校6年生から中学1年生にかけての増加が顕著)</li> </ul>			<p>有害情報等の規制(情報教育の推進、携帯電話等への対策)</p> <p>生徒指導上の課題への対応の充実 (生徒の自立・自己実現の支援(支援体制の充実、中退防止の取組み)、生徒指導の充実(いじめ・暴力行為等への対応、不登校への支援、携帯電話等の課題への対策、自主的・主体的活動の充実))</p>			
青少年を総合的に支援する仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ひきこもりの社会問題化</li> </ul>			<p>地域支援ネットワークの整備(困難を抱える青少年の社会参加等の支援)</p> <p>豊かな人間性を育む仕組みづくり (文化・芸術に触れる機会の充実、様々な活動に参加する機会の提供)</p>			

子育て目標：自立し、次代を担う大人へ							
施策区分	主な現状と課題	出産前 から 周産期	乳幼児期	学童期・思春期			青年期
				小学校	中学校	高 校	
若者の自立支援 ・就労支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○雇用(求人と求職)のミス マッチ (有効求人倍率が全国と比 較して高い一方、完全失 業率も高いなど)</li> <li>○フリーターをはじめとする 非正規雇用の割合が 高い (年長フリーターが高水準 で推移など)</li> <li>○新規採用予定者の内定 取り消しや派遣労働者等 の解雇・雇い止め</li> <li>○ニート状態にある若者の 増加</li> <li>○支援学校高等部を卒業し た知的障がいのある生徒 の就職率が低い</li> <li>○児童福祉施設等における 自立支援の一層の取組み が必要</li> </ul>					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>職業教育の推進</b> (産業教育の活性化、専修学校における産学接続コースの 創設・普及、16歳のハローワーク(職業アセスメント・ プログラム)事業、職業訓練の充実)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>若者の就職支援</b> (不安定就労者対策、ニート・フリーター対策)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>障がい児の就労支援</b> (職業コースの計画的な配置など就労支援の充実、 就労先等の開拓、障がい者雇用を進める企業への 支援体制の整備、たまがわタイプ支援学校の整備)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>社会的養護の拡充</b> (児童福祉施設退所児童等の 自立支援)</p> </div>	
青少年を総合的 に支援する仕組 みづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ひきこもりの社会問題化</li> </ul>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>地域支援ネットワークの整備</b> (困難を抱える青少年の社会参加等の支援)</p> </div>			

## 6 計画を推進するために

### (1) 目標数値の設定

平成26年度(計画最終年度)における、子育て環境の改善度(アウトカム)と、重点的な取り組みなどの実績(アウトプット)について目標数値を設定します。なお、目標設定を行う項目については、今後、お示しします。

#### ■ 総合指標(アウトカム指標)

子育て目標	項 目 ( 例 )	現状(H21)	目標値(H26)
安心して出産	安心して、妊娠・出産することができる街だと思ふ府民の割合		
	周産期死亡率		
いきいき子育て	安心して、子育てすることができる街だと思ふ府民の割合		
	...		
がんばりを応援	子どもの学力を伸ばすための教育環境が整っていると思ふ府民の割合		
	...		
	子どもの体力を伸ばすための環境が整っていると思ふ府民の割合		
	...		
豊かな心を育む	子どもの人間性を育むことができる街だと思ふ府民の割合		
	...		
	子どもの創造性を育むことができる街だと思ふ府民の割合		
一人ひとりを大切にする	家庭、学校、地域などで子どもを見守る環境が整っていると思ふ府民の割合		
	...		
自ら決める力を養う	子どもが将来の夢や目標を持ち、歩むことのできる街だと思ふ府民の割合		
	...		
自立し、次代を担う大人へ	若者が自立しやすい街だと思ふ府民の割合		
	...		

(今後、現状等を調査のうえ設定)

■ 個別指標(アウトプット指標)

(今後、設定)

## (2) 計画の進行管理

- ・ 計画の進捗状況については、毎年度、目標数値に対する達成度を把握するとともに、関連事業の実績等のと  
りまとめを行い、その内容を府民のみなさんにわかりやすく示します。
- ・ 計画の進行管理を行うため、外部の有識者等で構成する「大阪府子ども施策審議会」に、進捗状況を報告し、  
その意見を踏まえながら必要に応じ新たな課題への対応を行うなど、適正な進行管理に努めます。